

# 初任者研修の進め方

## (1) 指導事務職員の命課を受けて

◇命課の流れ（文書）

県教委 → 地教委 → 校長 → 本人

◇教育委員会から命課されたことを報告

（校長から関係機関へ）

- ・指導事務職員勤務校
- ・初任者勤務校
- ・市町事務職員研究会（必要あれば市町校長会）

### ポイント

🔑 指導事務職員の命課を受け、事務職員初任者研修を行うことを関係機関に報告し、今後、研修を行うために必要な協力依頼をする。

🔑 県教委からの「初任者研修実施要項」を管理職に提示し、理解してもらうことが必要。

## (2) 初任者勤務校との連携

◇初任者の勤務状況確認

- ・社会人としての経験の有無
- ・校務分掌
- ・前任者との引き継ぎ内容

◇初任者勤務校管理職と打合せ

- ・研修時間の確保
- ・研修場所の確認
- ・初任者研修実施要項の確認
- ・その他

### ポイント

🔑 研修をスムーズに行うには、指導事務職員と初任者勤務校が連携しながら進めることが大切。

🔑 初任者へのメンタルヘルスとして、校内で相談できる人がいることが有効。

## (3) 研修日の設定と研修方法

◇回数 定期的な部分と必要に応じた部分

◇会場 初任者勤務校・指導事務職員勤務校など

◇行事計画・職員室黑板への明記

◇出張の場合 用務：「学校事務初任者研修会」

（初任者勤務校へ出す開催文書の場合）

指導事務職員勤務校校長・指導事務職員連名文書

◇方法 直接・電話・メールなど 必要に応じて

### ポイント

🔑 初任者および指導事務職員勤務校管理職と相談し、研修を行うための時間設定を行い、研修しやすい環境を作る。

🔑 職員室・会議室等、研修内容に合わせて場所の設定を行う。

## (4) 研修計画と協力体制

◇「福井県公立小中学校事務職員初任者研修計画」を基に初任者の実状に合わせた研修計画を作成

◇初任者勤務校での校内研修・支部研での研修・指導事務職員が行う研修など 多方面からの研修を考える

◇支部研の協力体制づくり

（初任者育成ネットワーク）

### ポイント

🔑 初任者勤務校管理職と研修内容について打合せる。必要に応じて前任者や他校事務職員へ協力依頼。

🔑 指導事務職員を中心とした協力体制の中で、研修を行う。